

倫理カンファレンス事例

田中さん（仮名） 年齢：86 歳代 性別：男性
疾患名:肝臓がん(ステージⅣ PS:4) 予後予測:週単位～1 ヶ月程度
既往歴：誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。
ADL：ベッド上

【入院の経過】

20XX 年 X 月 発熱、食欲不振が出現し、誤嚥性肺炎の診断にて入院。絶食と抗菌薬点滴を開始され、2 週間ほどで肺炎は改善された。

【家族背景】

妻と二人暮らし。長男夫婦隣県在住、長女夫婦近くに住んでいる。
キーパーソン：長女（調理師）

田中さんの状況：「米を食べたい！」「食べられないくらいなら死んだ方がまし」と希望あり。食べることで肺炎が悪化し苦痛が増強することは理解している。

長女の状況：「食べさせないのは残酷だ。でも食べると肺炎を起こして命を縮める可能性があることも分かっている。どうしたらいいのか・・・」と涙を流している。

【検討したいこと】

田中さんは、肺炎が改善してくると、「米を食べたい！」と希望している。しかし、誤嚥による肺炎が再燃し死期を早める結果となる可能性が高い。どうしたらよいだろうか？